

MINI MINES

平成26年度 鉱業博物館

サイエンスボランティア研修会

in 男鹿半島 北側



① ~朝~ 男鹿市ジオパーク学習センター



② 館内を見学中!!



③ 五里合地域へ



④

「滝の頭水源」にて、湧水の根源を解説しました

滝の頭水源へ



⑤

浜間口海岸へ



砂浜に描いて図説しています

⑥

⑤、⑥ 浜間口海岸にて断層と褶曲の観察を行いました



~昼休憩~

⑦

⑧ 温泉旅館ゆもと大洲社長に、男鹿の歴史と文化のお話をさせていただきました



~休憩後~

⑨

西黒沢海岸へ

⑨ 休憩後も西黒沢海岸にて、地層の観察を行いました

平成26年11月27日(木)にサイエンスボランティア(以下SV)研修会を行いました。この研修会は、当館の運営の一助を担っているSVの皆さんの知識や交流を深めるべく毎年行われている課外活動です。今年度は国際資源学部の西川先生案内のもと、男鹿半島北側の地学的特徴を学びに行きました。

一日の流れは、男鹿市ジオパーク学習センターを見学し、五里合地域で断層、滝の頭水源で湧水、浜間口海岸で褶曲、そして男鹿温泉郷付近で石灰華を見学した後、昼休憩を挟み、西黒沢海岸で地層を観察するといったとても充実したスケジュールでした。

石灰華見学の後、「温泉旅館ゆもと」で昼休憩を取らせていただきました。社長の大洲さんから男鹿地域の文化や歴史についてのお話を聞くことができ、大変興味深い話を伺い、質問も活発に飛び交いました。休憩後も西黒沢海岸の地質・化石などの観察を行い、帰路につきました。

参加したサイエンスボランティアは、ハードなスケジュールながらも、男鹿の大地の成り立ちから歴史や文化にまで触れることのできた貴重な体験に、とても満足していた様子でした。



~お疲れさまでした~

阿仁地域

で行われたイベントに参加しました

平成26年11月21日(金)、阿仁地域で行われた様々なイベントと、サイエンスボランティア参加した名と当館スタッフが参加しました。はじめに、阿仁郷土文化保存伝承館で現在開催中の連携展「道の支えたる阿仁の道」の見学と、阿仁の観光案内を行う阿仁駅を中心とした周辺を散策するイベントに参加しました。



散策は伝承館を皮切りに、異人館、法華寺、トロッコ道、阿仁銀山が眺望できる展望台などを巡りました。外国から招き入れた鉱山技術者が住んでいた異人館では、当時行われていた娯楽やお祭りなどの行事についてのお話を交えながら、建物の解説などをしていただきました。散策時は大変天候に恵まれ、さわやかな秋晴れの中、気持ちの良いイベントになりました。

次のイベントは、阿仁ふるさと文化センターで開催された、秋田大学「地(知)の拠点整備事業」フォーラム2014 in 北秋田「鉱山の隆盛がもたらした阿仁文化への現代の活用」への参加・聴講でした。この取り組みは大学が自治体と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進め、地域再生・活性化の拠点となる大学の形成を目指すことを目的としており、この報告会であるフォーラムに、当館スタッフとして参加し、今年度鉱業博物館が行ってきた伝承館との連携展の話を中心に、活動を報告しました。質疑応答では地元の聴講者から鉱山に関する質問が寄せられ、地元の方々の鉱山に関する関心の深さと、連携展を通して寄せられる期待を感じ取ることができました。フォーラムとなりました。



鉱業博物館へのご寄贈ありがとうございます



梱包作業風景

鉱業博物館では各所から貴重な鉱石や鉱物のコレクションの寄贈をいただいております。

いただいた寄贈物は学術的に鑑定・整理し、標本として登録しています。特に貴重なものや特色のある標本については、常設展示あるいは特別展や企画展として来館される皆様に公開できるよう準備作業を行っております。

未整理の標本も含めて、数が大変多いことから整理には時間がかかる予定ですが、今後まとまり次第、皆様に公開していきたいと思っております。



寄贈された鉱物・鉱石の一部



来年1月の恐竜

オビラプトル



ミュージアム
ショップ価格
2,100円

今月は恐竜シリーズ全8種類のうちの「オビラプトル」です。
ミニミニマインズ No.229にて、勘違いから卵泥棒と名付けられたかわいそうな恐竜と紹介しました。オビラプトルの頭部の形状から、短いですが硬いくちばしを持っていてと考えられており、卵の固い殻を割るのに適していたため、勘違いされた側面があります。実際には卵を捕食していたと考えられていますが、卵は繁殖期にならないと現れないため、木の実や貝などを食べるため硬いくちばしを持つように進化したと考えられています。

良い年の瀬をお迎えください

今年も格別のお引き立て誠に感謝申し上げます。
来年も鉱業博物館を宜しくお願い申し上げます。

レアアース資源

—先端技術を支えるビタミン—
が終了しました。

平成26年度企画展「レアアース資源—先端技術を支えるビタミン—」が終了いたしました。10月からの約2ヶ月間の期間中は1,000人を超えた大変多くの皆様にご来館いただきました。誠にありがとうございました。

また、現在開催中の平成26年度第3回連携展「道が支えた阿仁鉱山」の道、炭の道、銅の道」は、来年1月18日まで阿仁郷土文化保存伝承館にて展示いたします。ぜひこの年末年始に足をお運びください。

工学資源学部授業「ボランティア参加」履修学生が活動を終了しました。

平成26年度工学資源学部専門授業「ボランティア参加」履修学生の活動が今月で終了します。この活動は一定のボランティア活動を行った学生に対して単位の認定を行う授業科目であり、学生たちは4月からの約1年間、この活動を通して鉱業博物館を影ながら支えてくれました。

活動内容は普段できない細かい場所の清掃や、ご来館くださったお客様からのアンケートの取りまとめ、ミュージアムショップで販売している商品の包装用の箱の作成などの裏方としての作業、また、現在も行われている「にぎわい交流館AU」での出張展示の企画・設置を担当するなど、大変多岐に及んだ活動を行いました。

授業の一環ではありますが「ボランティア」という慈善活動ということもあり、仕事をお願いする我々博物館スタッフも手探り状態でしたが、依頼したことをしっかりとこなしてくれる姿勢に大変助けられました。ご参加くださり、誠にありがとうございました。



館内清掃
隅まで徹底的に！



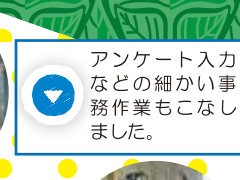
展示ケースの上も



イベントで使用する箱作り



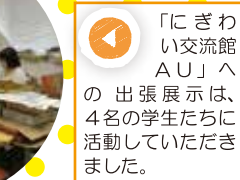
正面入口の清掃は手が届きにくい場所のため、大変助かりました。



アンケート入力などの細かい事務作業もこなしました。



「にぎわい交流館AU」への出張展示は、4名の学生たちに活動していただきました。



「にぎわい交流館AU」への出張展示は、4名の学生たちに活動していただきました。